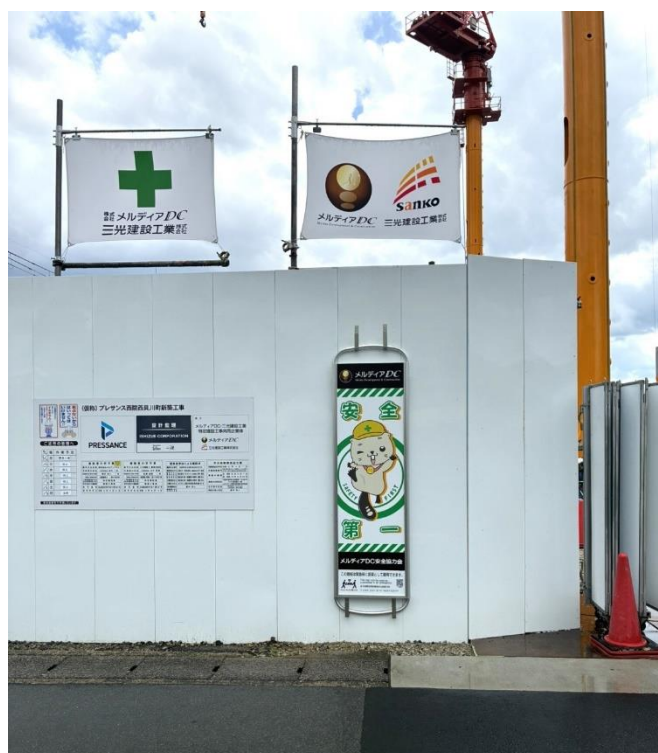


【プレサンスグループ】株式会社メルディアDCが建設現場の看板に
緊急時の「担架」に変わる
救護器具兼用看板「**タンカン板**」を設置

～建設現場を「地域の安全を支える存在」へ。マンション建設9現場へ順次設置～



※実際にメルディアDCが設置したタンカン板。

分譲マンションの企画と販売を手がける株式会社プレサンス（本社 大阪府大阪市中央区、代表取締役社長 原田 昌紀）のグループ企業である株式会社メルディアDC（本社 大阪府大阪市淀川区、代表取締役社長 田中 一也）は、地域社会の防災力を高めるため、2026年6月下旬から7月中旬にかけて、同社が施工する関西圏のマンション建設現場計9現場に、緊急時に担架として活用できる救護器具兼用看板「タンカン板」を新たに設置いたします。

昨今、猛暑や地震といった自然災害が全国で増えており、国や自治体だけでなく、企業や地域が一緒になった防災への備えが求められています。プレサンスグループでは、建設現場を単なる工事の場所としてだけでなく、地域の安全を支える場所として役立てたいという思いから、今回の設置を決定いたしました。



※実際にタンカン板をタンカとして使っている様子

今回設置する「タンカン板」は、普段は工事案内などの看板として街になじみながら、万が一の緊急時にはワンタッチで取り外して担架に変えることができる画期的な道具です。大人数で支えられる頑丈な作りに加え、水に浮く特殊な素材で作られているため、これからの季節に心配される水害時の浮き輪や、炎天下でのベッド代わりとしても使うことができます。プレサンスグループは、新しく定めたタグライン「住まいづくりにまっすぐ。」のもと、これからも地域に寄り添い、みんなに喜ばれる安心な街づくりにまっすぐ取り組んでまいります。

取り組みの概要

設置対象現場

- ・（仮称）プレサンスロジェ西宮市城ヶ堀町新築工事
- ・（仮称）プレサンス西院西貝川町新築工事
- ・その他 7現場（※プレサンスグループ以外の他社物件となります）
- ・実施予定時期：2026年6月下旬から7月中旬

設置する目的

- ・身近に人を救うための道具がある環境を街の中に作り出し、事故や災害のときに迷わず救助の一手を踏み出せる人を増やすこと。
- ・工事現場の周辺に住むみなさんや通行人の万が一の事態に備え、地域全体の防災力を高めること。

タンカン板の主な特徴

滋賀県草津市の株式会社クラウドナインが製造・販売を手がける「タンカン板」は、日常時は看板として、緊急時には救護アイテムとして活躍する画期的な製品です。

- ・看板の裏側にあるスタンドを外してひっくり返すだけで、子供や女性でも簡単に扱える救護用の担架になります。
- ・100kg以上の人を乗せても壊れない頑丈なアルミフレームを採用。裏側には体に優しいクッション素材を入れており、要救護者の負担を軽減します。
- ・水に浮く仕組みにより、浸水などの緊急時には浮き輪の代わりになります。また、熱をさえぎる効果が高いため、真夏の熱い地面でも倒れた人を一時的に寝かせておくベッドとして使用できます。

製造・販売元：株式会社クラウドナイン（所在地：滋賀県草津市）

会社概要

〈株式会社プレサンス〉

株式会社プレサンスは、主に関西・東海圏を中心に新築マンションの企画・開発・分譲を手がける不動産ディベロッパーです。2025年には、近畿圏で16年連続、名古屋市内で15年連続となる分譲マンション供給戸数ランキング第1位を獲得。さらに、2025年の全国分譲マンション供給戸数ランキングにおいても第1位を獲得し、全国トップの実績を誇ります。（2026年2月現在）

URL：<https://www.pressance.co.jp/>



2025年新築分譲マンション供給戸数が全国で1位を獲得。
（不動産経済研究所調べ2026年2月時点）

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社プレサンス 広報戦略室 岡崎

電話番号：0120-996-442

メールアドレス：kouhou@pressance.co.jp